2011年3月期　決算補足資料

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。

トピー工業株式会社

2010年度　決算について

※今期よりセグメント区分を変更しております。

2010年度（12ヶ月）概要

流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

（単位：億円）

	2009年度	2010年度	前　期　比	増　減　率
売上高	1,968	2,214	＋246.0	＋12.5%
営業利益	3.6	70.1	＋66.5	＋1,870.1%
売上高営業利益率	0.2%	3.2%	－	－
経常利益	6.3	52.4	＋46.1	＋736.9%
当期純利益	△10.3	20.7	＋31	－

◆外部環境
・日本経済は輸出の増加や政府の経済対策等により、企業収益や個人消費は緩やかに回復
・中国・アジアにおける建機・自動車需要の拡大
◆トピー工業グループの取り組み
・成長著しい中国において、油圧ショベル用足回り部品の生産能力増強や乗用車用ホイール生産拠点の完全子会社化等、事業基盤を強化
・あらゆるコスト改善諸施策に取り組み、強靭な収益構造の確立に邁進
◆業績概要
・円高や震災の影響があったものの、外部環境の回復を確実に業績に結実

2010年度下期（6ヶ月）概要

流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

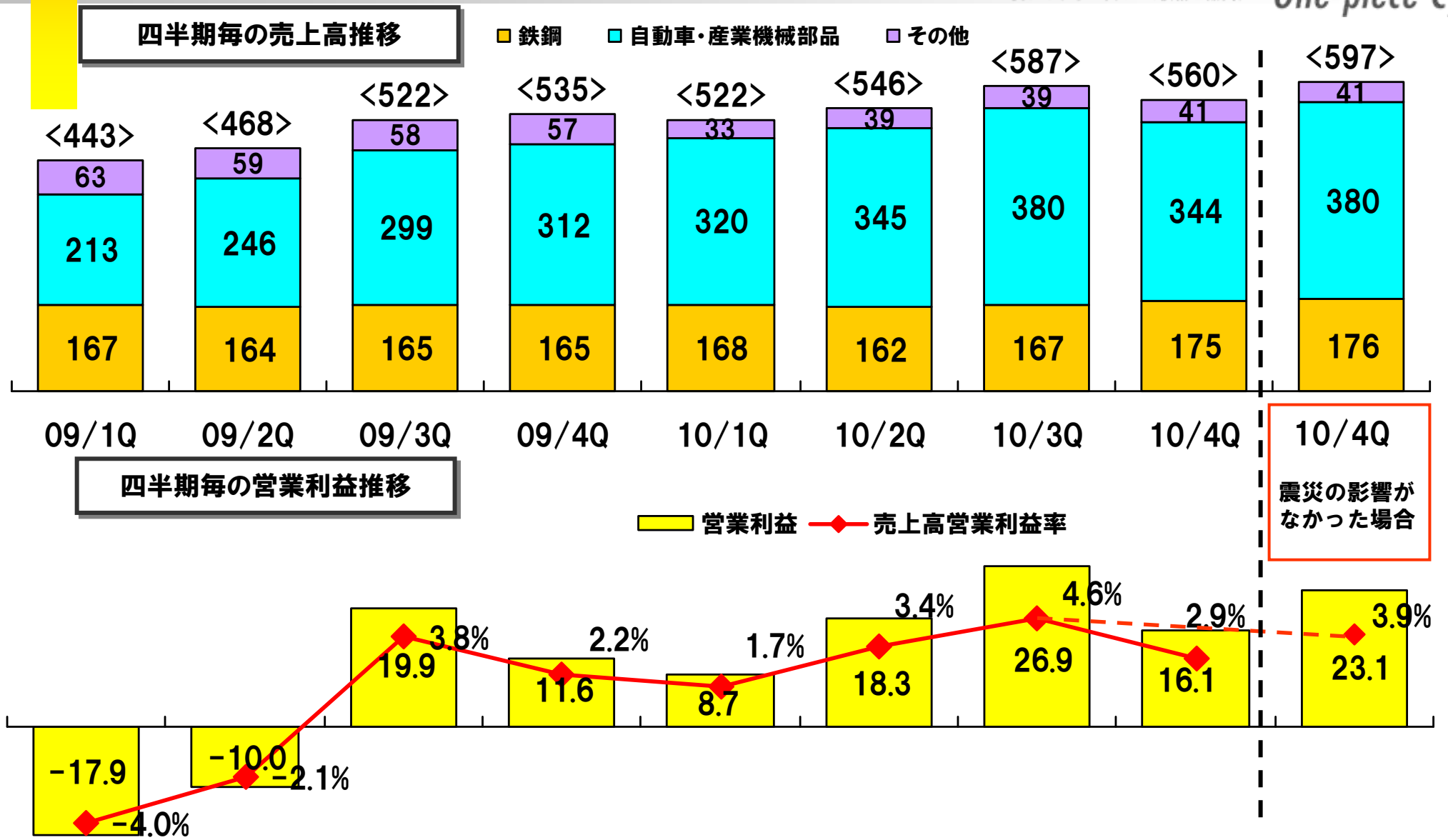
（単位：億円）

	2009年度下期	2010年度下期	前年同期比	増　減　率
売上高	1,056	1,147	＋91.0	＋8.5%
営業利益	31.5	43.1	＋11.6	＋36.8%
売上高営業利益率	3.0%	3.8%	－	－
経常利益	29.4	32.1	＋2.7	＋9.4%
当期純利益	17.1	15.5	△1.6	－

◆外部環境
・日本経済は輸出の増加や政府の経済対策等により、企業収益や個人消費は緩やかに回復
・東日本大震災による顧客の生産調整があったものの建機、自動車の需要は好調に推移
◆トピー工業グループの取り組み
・コスト改善諸施策、今後の事業展開の基盤となる個別事業の課題に取り組み、強靭な収益構造の確立に邁進
◆業績概要
・回復した外部環境を捉えるとともに、コスト管理を徹底し、業績向上
・営業利益ベースで7億円程度の震災の影響

四半期毎の売上高・営業利益の推移

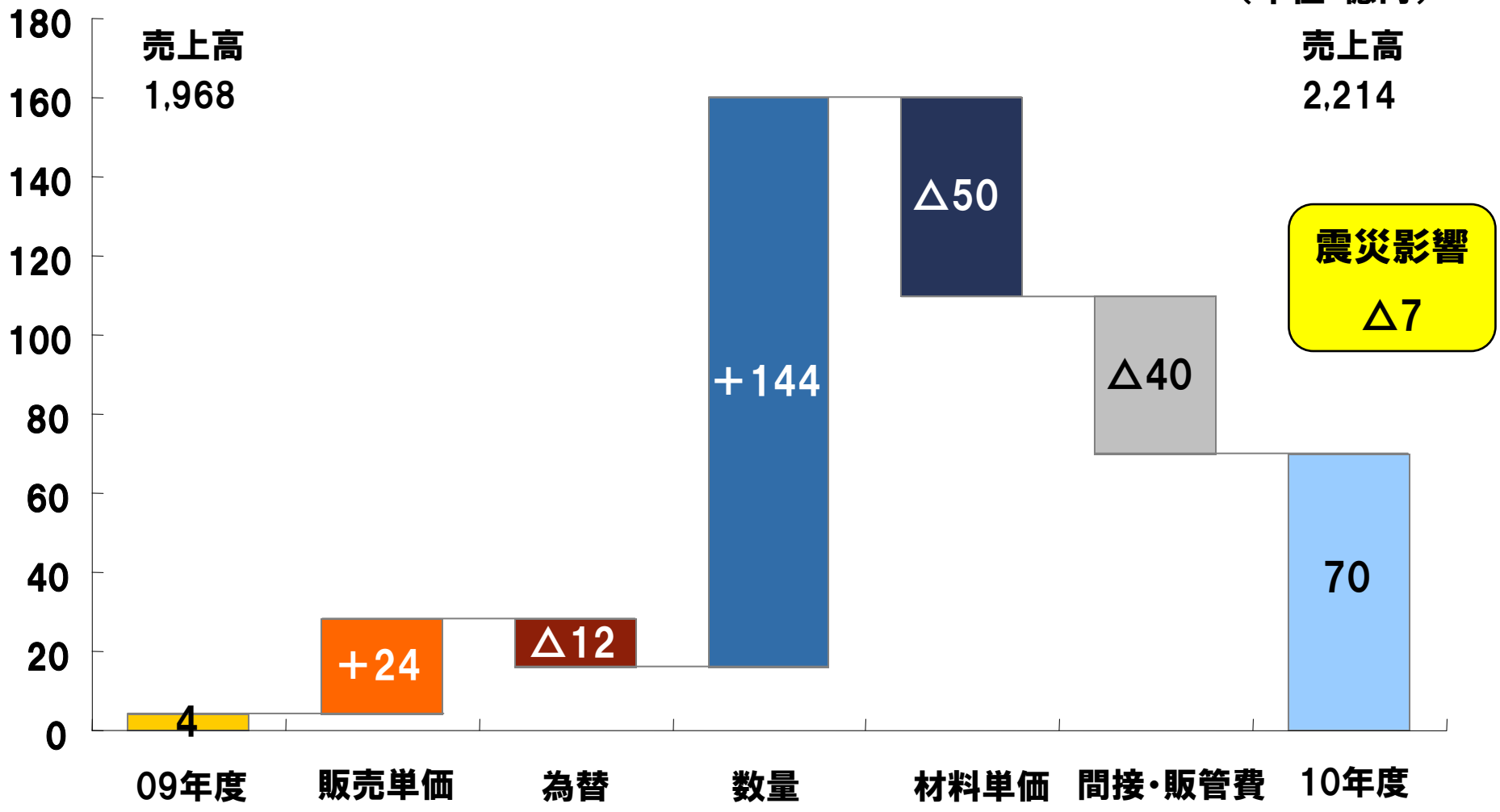
流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle



2010年度（12カ月） 営業利益増減要因

流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

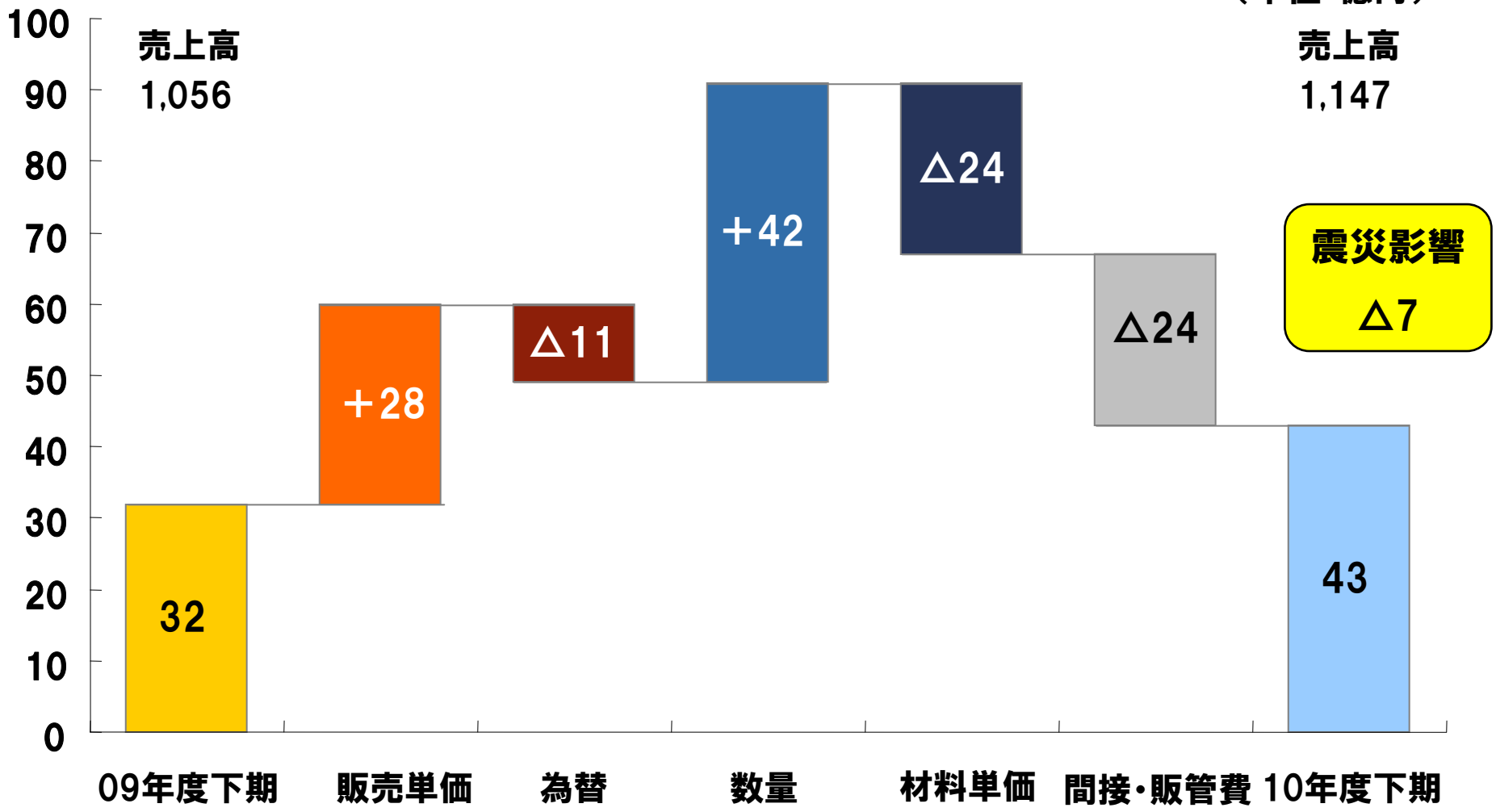
（単位：億円）



2010年度下期（6ヶ月） 営業利益増減要因

流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

（単位：億円）



セグメント別業績

流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

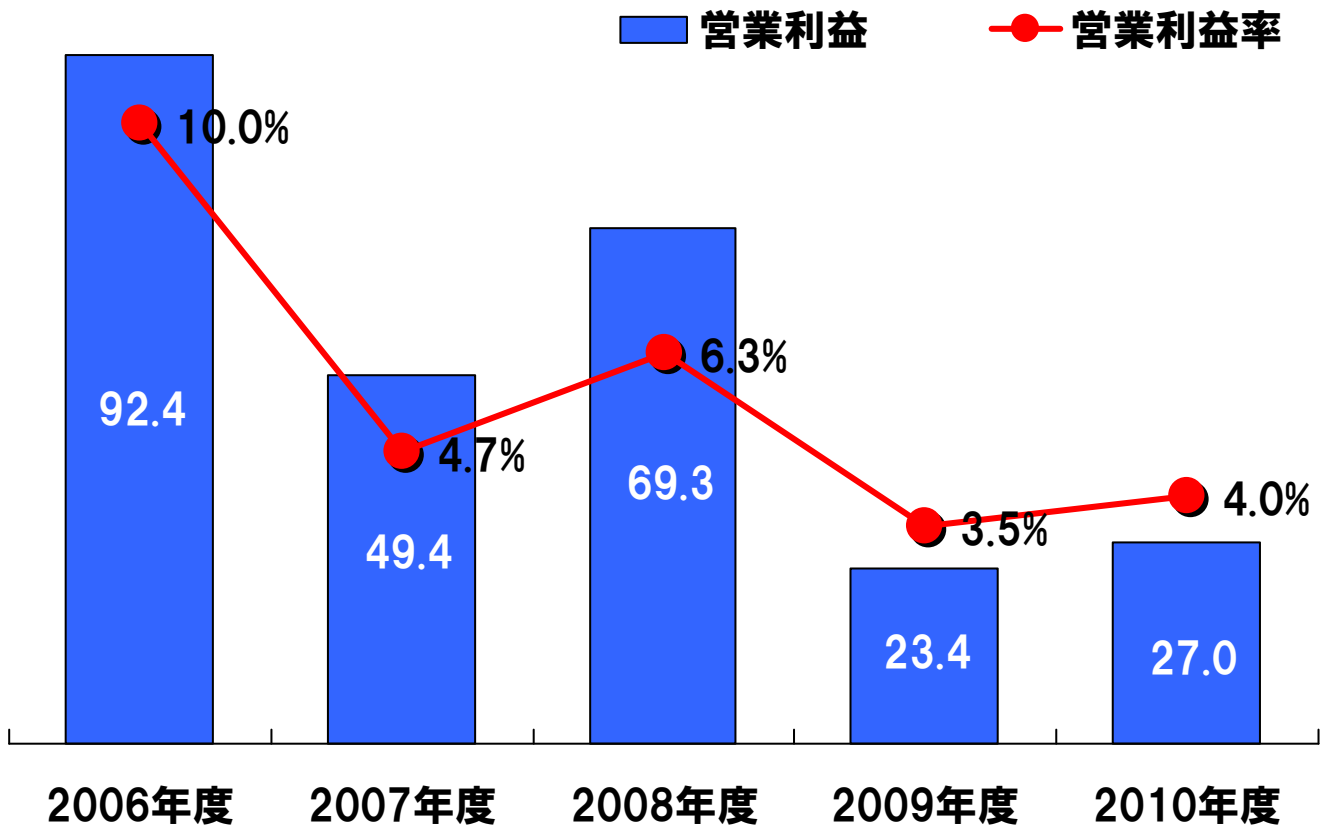
（単位：億円、％）

	2009年度		2010年度		増　減　率	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄　　鋼	661	23.4	672	27.0	＋1.6%	＋15.3%
自動車・産業機械部品	1,070	9.3	1,390	76.7	＋29.9%	＋726.2%
そ の 他	237	9.0	152	7.9	△36.1%	△11.4%
消　　去	-	△38.0	-	△41.5	-	△9.0%
連 結 計	1,968	3.6	2,214	70.1	＋12.5%	＋1,870.1%

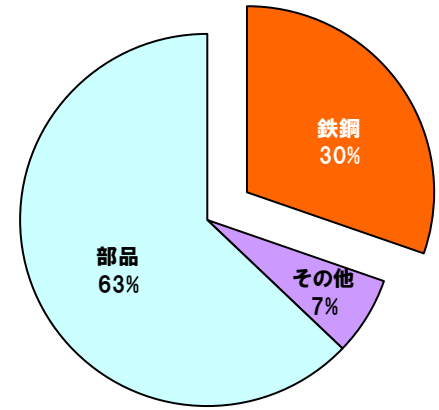
鉄鋼事業 業績

（単位：億円）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売上高	921	1,059	1,096	661	672



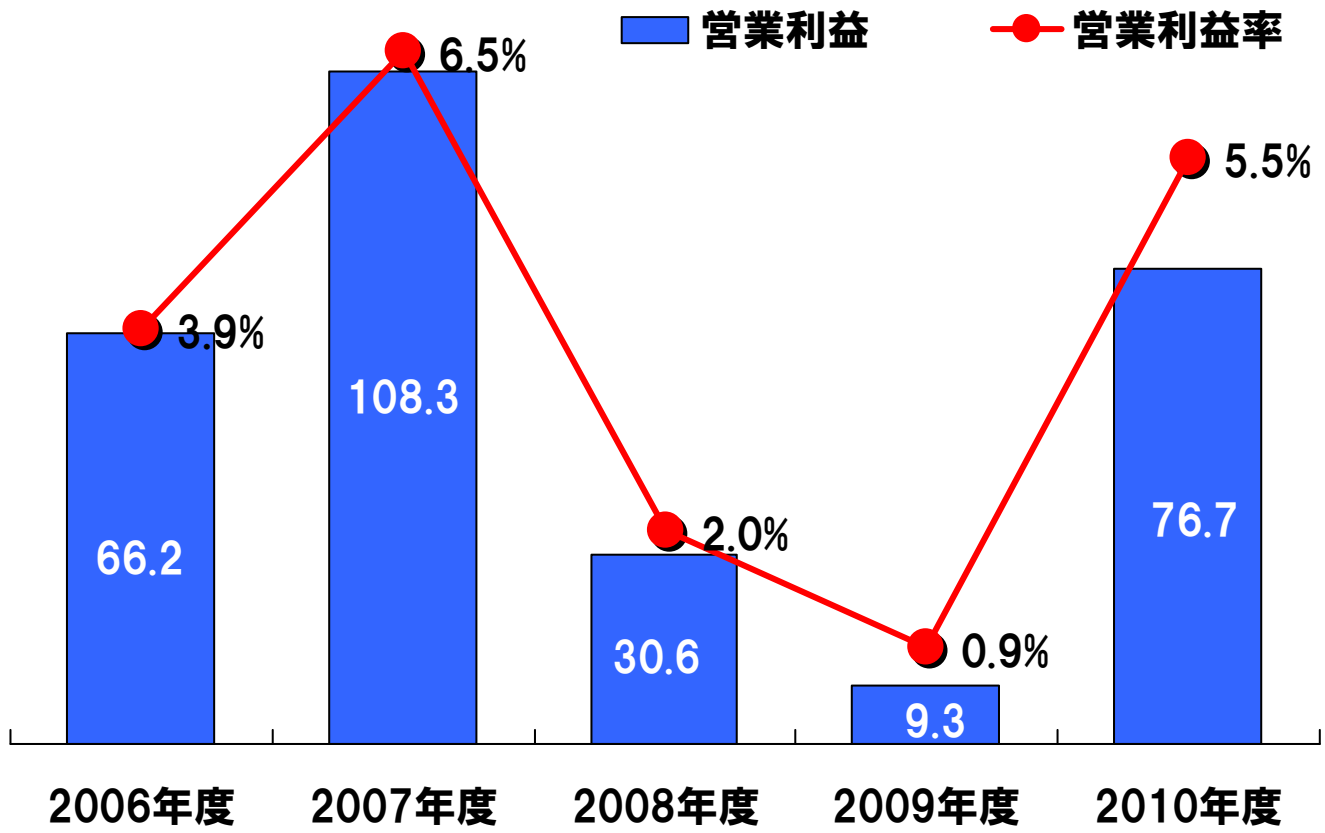
- 建機、自動車等の製造業向け鋼材需要が順調に推移
- 原材料価格に見合った販売価格の形成



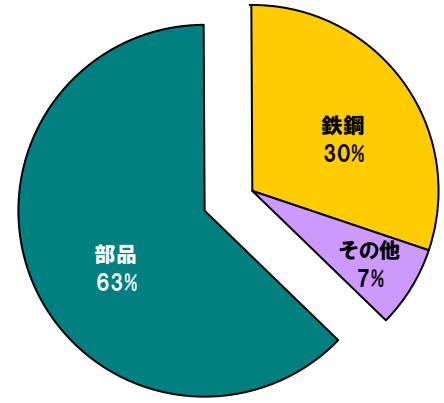
自動車・産業機械部品事業 業績

（単位：億円）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売上高	1,707	1,670	1,538	1,070	1,390



- 建機用足回り部品、鉱山向け超大型ホイール、トラック用ホイールの販売数量が大幅増加
- 徹底的なコスト管理を継続

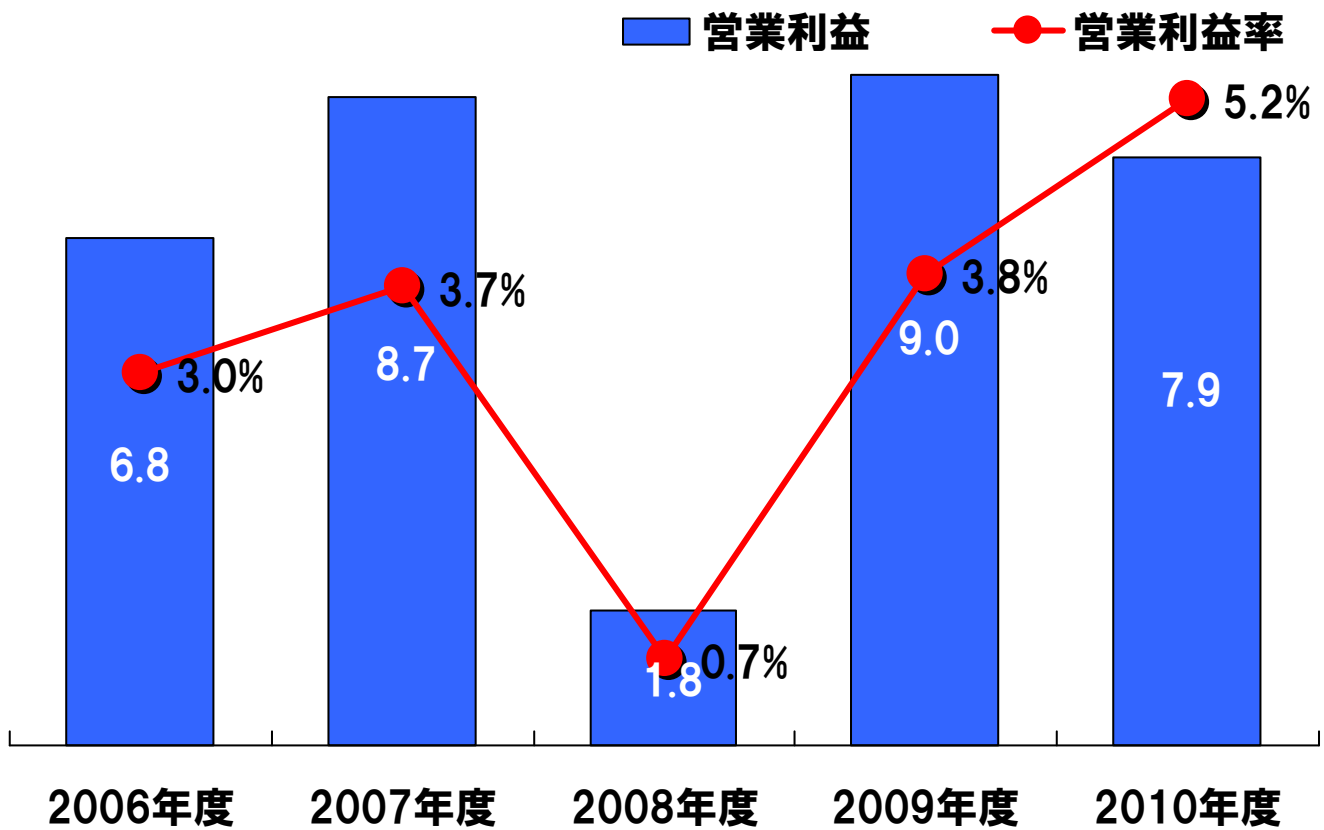


その他 業績

流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

（単位：億円）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売上高	223	238	270	237	152



- 電力卸供給事業
- 屋内外サインシステム事業
- 化粧品等に使われる合成マイカの製造販売
- LEDディスプレー及びクローラーロボットの製作販売
- 「トピレックプラザ」（東京都江東区南砂）等の不動産賃貸
- スポーツクラブ「OSSO」の運営　等

※2006～2009年度については、「橋梁・土木・建築事業」と「発電事業」、「その他」の合計値を記載しています。

連結貸借対照表

流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

（単位：億円）

		2009年度	2010年度	前　期　比
	現金及び預金	216	189	△28
	受取手形及び売掛金	394	475	+81
	棚卸資産	229	276	+47
	有形固定資産	806	746	△60
	その他資産	366	354	△12
資産合計		2,011	2,040	+29
	支払手形及び買掛金	341	385	+44
	有利子負債	623	617	△6
	その他の負債	229	236	+7
負債合計		1,192	1,238	+46
	株主資本	834	842	+9
	その他包括利益累計額	△23	△47	△25
	少数株主持分他	7	7	△0
純資産合計		819	802	△17
負債純資産合計		2,011	2,040	+29

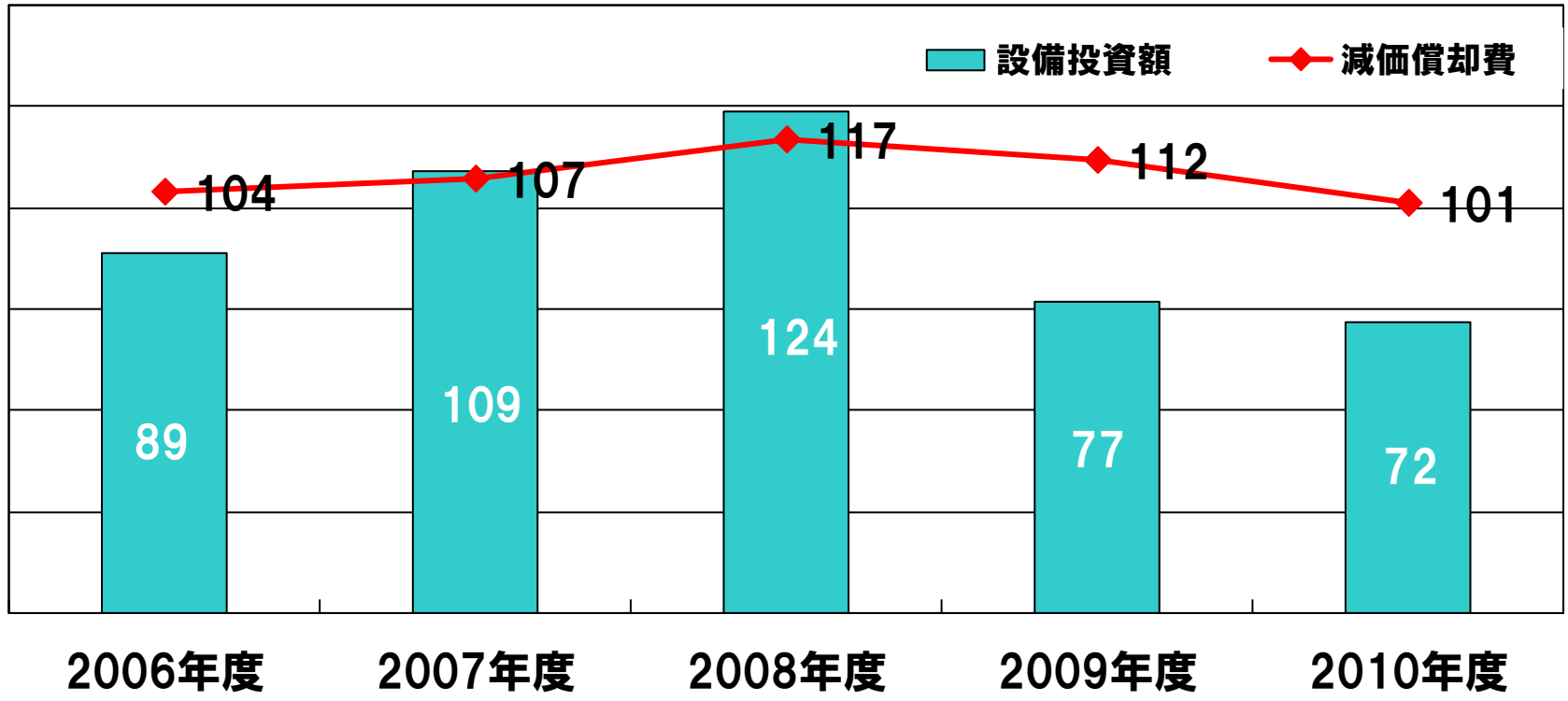
- 売上債権と買入債務棚卸資産は売上高の増加に連動して増加
- 有形固定資産は設備投資の抑制により減少
- その他包括利益累計額の内訳は有価証券△14億円、為替換算△11億円が中心

設備投資

流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

（単位：億円）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	前期比
減価償却費	104	107	117	112	101	△11
設備投資	89	109	124	77	72	△5

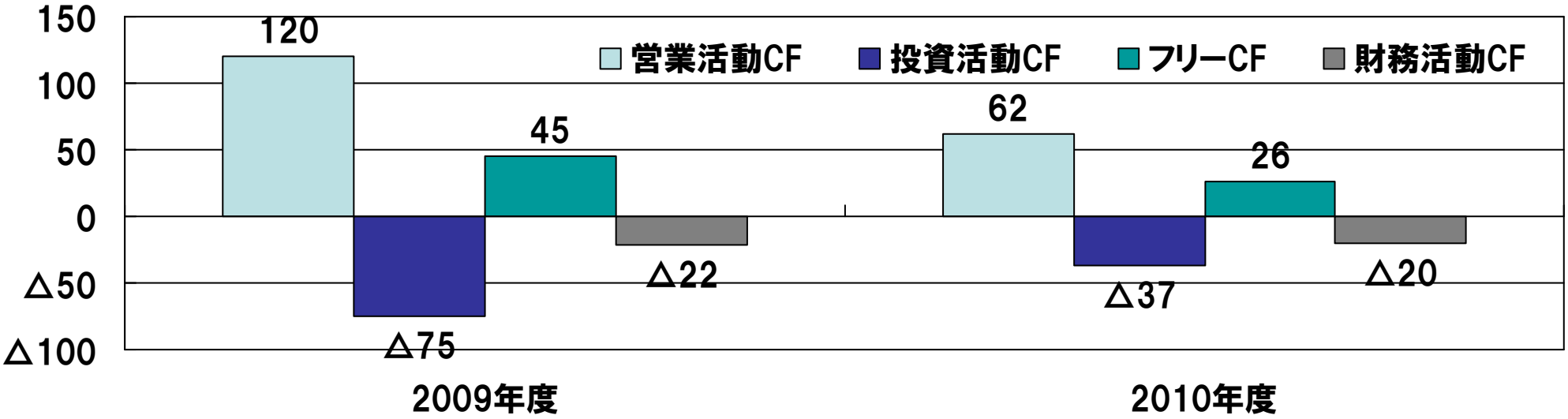


キャッシュ・フロー

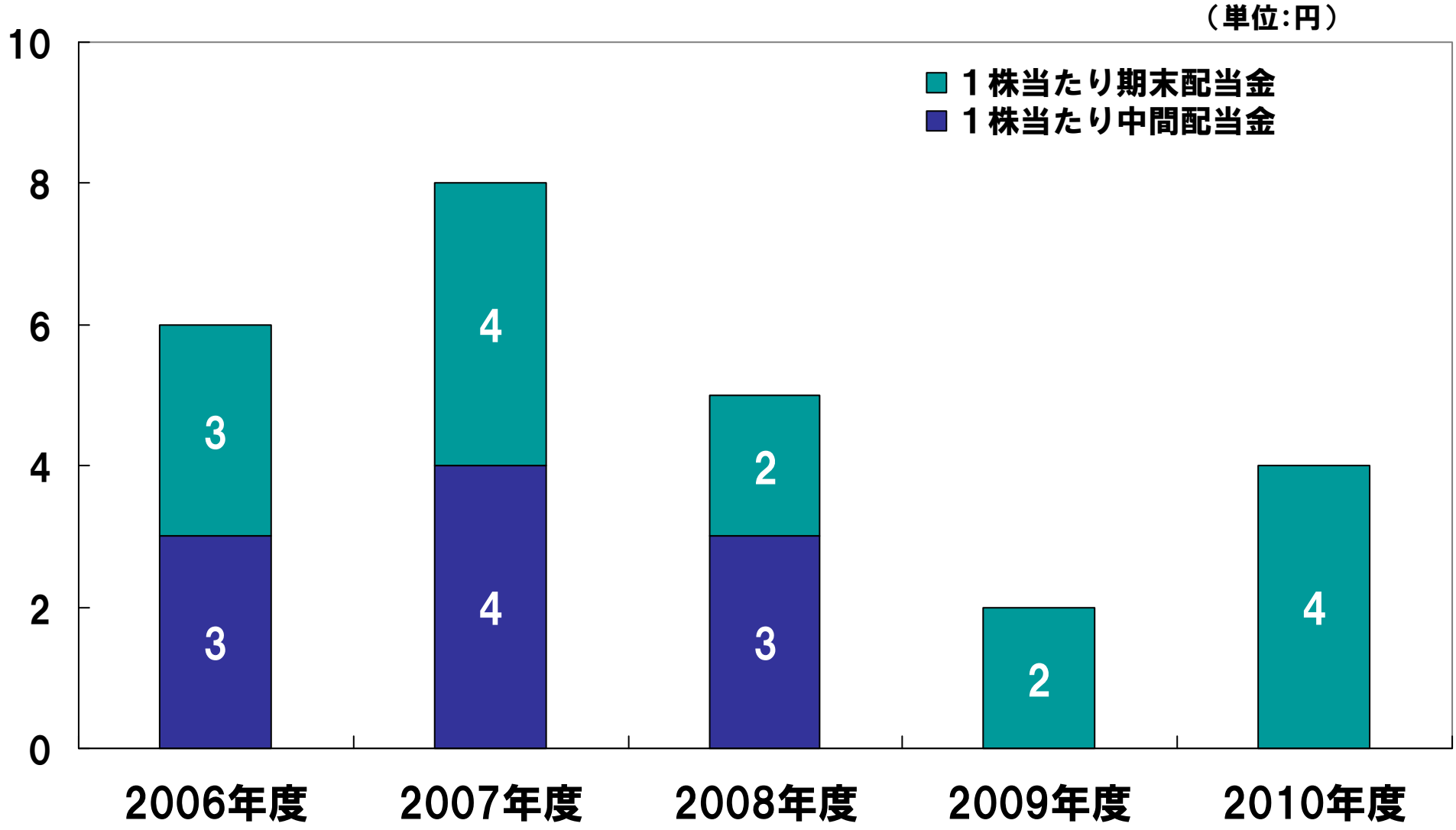
流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

（単位：億円）

	2009年度実績	2010年度期実績	前期比	増減率
営業活動によるキャッシュフロー	120	62	△58	△48.3%
投資活動によるキャッシュフロー	△ 75	△ 37	＋38	＋50.7%
フリーキャッシュフロー	45	26	△19	△42.2%
財務活動によるキャッシュフロー	△ 22	△ 20	＋2	＋9.1%
連結除外に伴う減少額及び換算差額	0	△ 24	△24	-
現金及び現金同等物増減額	23	△ 18	△41	-
現金及び現金同等物の期末残高	205	187	△18	△8.8%



株主配当


（単位:円）
10
8
6
4
2
0
１株当たり期末配当金
１株当たり中間配当金
3
3
4
4
2
3
2
4
2006年度
2007年度
2008年度
2009年度
2010年度

2011年度業績予想について

2011年度の業績見通しにつきましては、震災による顧客の生産調整の規模、とりわけ売上の6割を占める自動車・建機メーカーの動向等、当社業績へ与える影響に関し、当社として現時点で合理的な算定・予想を行うことができません。次期の連結業績の見通しは未定とさせていただき、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。